

◆国語科◆

全校で取り組んできたこと（H30年度12月調査の分析・検討を受けて）

- ・「話すこと・聞くこと」においては話す内容を文字化することによって、内容の吟味をさせる。
- ・問題文を最後まで見落とさずに読み、線を引いたり○で囲んだりすることで、答える内容を的確に捉える習慣をつけさせる。
- ・週末課題として新聞のコラム「有明抄」の視写に取り組ませ、感想や要約などの「書く活動」などによって、「思考力」「読解力」「表現力」の向上につなげる。
- ・宿題と毎時間の漢字テスト・小テストを連動させ、言語事項の定着を図る。

4月データを分析して気付いた成果と課題

《第7学年について》

成 果	課 題
<p>【国語科全体を通して】</p> <p>○書く領域については県平均を 0.6 ポイントと上回っている。</p> <p>○漢字の読みに関しては県平均を下回るものの、ほとんどの問題で十分達成となっている。</p> <p>○無答率は全ての問題ではないものの全体的に県を下回っている。何とかして問題に答えようとする意欲が見られる。</p> <p>○活用に関する問題の正答率は、県を 14.5 ポイント上回っている。</p> <p>【設問別の結果から】</p> <p>○ 大問2の四、「目的や意図に応じて自分の考えを書く」、大問4三「目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらか読む」など、自分の考えを書くことについては比較的得意としている。</p>	<p>【国語科全体を通して】</p> <p>●正答率は全体的に低く、要努力の生徒の割合が県平均を 8.3 ポイント上回っている。語彙力や読解力に課題が見られる。意識調査の結果などからも読書体験が少ないことが分かり、「文章を読み慣れていない」「文章中に知らない言葉、読めない漢字が多く含まれ、内容を理解できない」といった傾向が予想される。</p> <p>●字が乱雑な生徒が多く、読み取ることに苦労した。落ち着いて丁寧に書く指導の必要を感じる。</p> <p>【設問別の結果から】</p> <p>●漢字の書きを苦手としており、正確に丁寧に書く訓練が必要である。特に部首の間違が多く、「祝う」では「ころもへん」と「しめすへん」、そして「険」と「検」での誤答が多かった。漢字の部首が持つ意味を教えつつ、繰り返し書かせる指導が必要である。また、漢字の由来の正答率も低く、漢字を形だけで覚えている生徒が多いと考えられる。漢字は表意文字なので形と音だけではなく、意味も理解しながら覚えさせていく必要がある。</p>

◆数学科◆

全校で取り組んできたこと（H30年度12月調査の分析・検討を受けて）

- ・自分の考えを書き表し、友だちに説明するコミュニケーション活動を随時設定し、活用する力と考えを伝える力を身につけさせる。
- ・日々の授業で、小テストを実施し、自己評価をさせながら、数式の計算技能の向上を図る。
- ・学習に対する良い習慣を確立させるとともに、理解が十分ではない生徒には個別指導の機会をできるだけ設定し、生徒の意欲を高める。

4月データを分析して気付いた成果と課題

《第7学年について》

成 果	課 題
<p>[数学科全体を通して]</p> <p>○教科全体の正答率は、「おおむね達成」が県正答率と同程度であった。</p> <p>[設問別の結果から]</p> <p>○「数と計算」では、分数の乗除は、十分達成している。無解答率は県平均を0.7ポイント下回った。</p> <p>○「量と測定」では、全ての問題で県正答率を下回った。また、無解答率は0.9ポイント下回った。</p> <p>○「図形」では、『点対称な図形における対応する辺を答える問題』は県平均をわずかに上回り、十分達成している。また、『線対称な図形の対称の軸を答える問題』では、県平均を5.1ポイント、『直方体の面と平行な辺を答える問題』では、県平均を4.3ポイント上回る。</p> <p>○「数量関係」では、『4チーム総あたりの試合数を求める問題』は十分達成し、県正答率を11.5ポイント上回る。また、『柱状グラフを用いるとよい場合を答える問題』は1.8ポイント上回る。無解答率は、1.2ポイント下回る。</p>	<p>[数学科全体を通して]</p> <p>●正答率は、県平均を8.5ポイント下回り、「十分達成」は県平均をかなり下回り、「要努力」は大きく上回った。</p> <p>[設問別の結果から]</p> <p>●「数と計算」では、県正答率を9.2ポイント下回る。特に『分数の大小を比べる問題』の正答率が18ポイント下回る。</p> <p>●「量と測定」では、県正答率を15.5ポイントとかなり下回る。特に『三角柱の体積を求める問題』は23.2ポイント下回る。</p> <p>●「図形」では、県平均を4.1ポイント下回る。特に、『縮図の長さから実際の長さを計算で求める問題』は15ポイント、『縮図や拡大図の考え方をを用いて、写真を何倍に拡大すればよいかを求める問題』は15.9ポイント下回る。</p> <p>●「数量関係」では県正答率を9.9ポイント下回る。特に、『柱状グラフを読み取る問題』は31.9ポイント下回る。その他、『比較量を求めて値引きされる金額が大きい方を選ぶ問題』は19.4ポイント、『仮の平均を用いた考えを解釈し、示された数値を基準とした場合の平均の求め方を説明する問題』は16.9ポイント、『比と全体の量を基に、部分の量を求める問題』は13.8ポイント下回る。</p>

●説明する問題は、解き方や理由が分からないということではなく、正答の条件を満たしきれないものが多く、正答率を下げている。

◆意識◆

全校で取り組んできたこと（H30年度12月調査の分析・検討を受けて）

- ・家庭教育指針に基づいた学年に応じた家庭学習時間の確保。
- ・授業と連動した学習課題を効果的に出す。
- ・生徒の読書量を増やす取組の強化。
- ・インターネットやスマートフォンの使用について各家庭で約束事を決め、家庭学習時間を確保させる。
- ・SNSの利用について、生徒や保護者への啓発活動。

4月データを分析して気付いた成果と課題

《第7学年について》

成 果	課 題
<p>○将来の夢や目標をもって、人の役に立つ人間になりたいと思っている。 (問)将来の夢や目標を持っている。 「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」 84.1%(県)→88.4%(本校)</p> <p>(問)人の役に立つ人間になりたいと思う。 「そう思う」74.0%(県)→76.5%(本校)</p> <p>○授業の課題に対し、主体的に考え、能動的に取り組んでいる。 (問)授業では、生徒の間で話し合う活動がよく行われていると思う。 「そう思う」46.1%(県)→61.8%(本校)</p> <p>(問)授業では、先生から支持される課題や学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいると思う。 「そう思う」「どちらかというと思う」 83.1%(県)→88.2%(本校)</p> <p>(問)授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいると思う。 「そう思う」「どちらかというと思う」 83.0%(県)→85.3.7%(本校)</p> <p>(問)授業で扱うノートには、学習の目標「めあて・ねらい」とまとめを書いていると思う。 「そう思う」「どちらかというと思う」 88.2%(県)→91.2%(本校)</p> <p>(問)「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べてことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。 「そう思う」「どちらかというと思う」 74.5%(県)→88.2%(本校)</p>	<p>●学校で落ち着いて学習ができていない。 (問)学校では落ち着いて学習することができると思う。 「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」 93.6%(県)→79.3%(本校)</p> <p>●「早寝・早起き・朝ごはん」の啓発が必要である。 (問)朝食を毎日食べている。 84.2%(県)→58.8%(本校) 75.0%(6年時)→58.8%(7年時)</p> <p>(問)普段(月曜日から金曜日)、何時ごろに寝ますか。 ・11時以降、11時前 46.8%(県)→61.8%(本校) ・11時以降、12時前 17.3%(県)→26.5%(本校)</p> <p>●「時間の使い方の見直し」の指導が必要である。 (問)普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか。 ・1時間以上 55.3%(県)→61.7%(本校)</p> <p>(問)普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか。 ・2時間以上 19.0%(県)→29.4%(本校)</p> <p>(問)テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを家の人と決めている。 「している」「どちらかといえば、している」 55.7%(県)→44.1%(本校)</p> <p>●スマートフォン等所持率が高いが、使用に関してルールづくりがなされていない生徒が2割ほどいる。 (問)携帯電話やスマートフォンの使い方について、家の</p>

人と約束したことを守っていますか。

・「携帯電話やスマートフォンを持っているが、約束はない」

8.3% (県) → 20.6% (本校)

・「携帯電話やスマートフォンをもっていない」

31.5% (県) → 11.8% (本校)

●読書の楽しさを感じさせる活動が必要である。

(問)：読書は好きだ。

・「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」

75.2% (県) → 58.9%